

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	生涯学習部	生涯学習課	新花巻図書館の整備計画について	新花巻図書館の建設時期や建設場所など現時点における計画の内容について伺いたい。	<p>新花巻図書館は、現在の図書館が老朽化のため移転整備することで市民説明会なども実施し平成29年度に「新花巻図書館基本構想」を策定したところ。これに基づき平成30年度は、「新花巻図書館整備基本計画」の策定を進めている。この計画の中で具体的な場所や規模、事業費等を決めていきたいと考えている。その後、基本設計、実施設計が平成31年から33年度頃までに入っていく予定のため実際の建設工事は平成35年度以降となる見込み。よって、現時点で具体的にいつ頃開館となるのかは申し上げられない状況。</p> <p>今年度は、具体的な設備についても示していきたい。また、場所は、まなび学園周辺か花巻駅に近い方が利便性が良いという意見もあり、これらも踏まえながら検討していきたい。</p> <p>新花巻図書館は、国の支援も得る必要があり、基本設計ができた後で、国との話し合いを進めなければならない。国との協議後、実施設計に入り、建設はその後となる。なるべく早く造りたいが、国との話し合いや建設にどれほど時間がかかるのかで違ってくる。現時点で後数年で出来るとは言えない状況。</p>
2	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	生涯学習部	生涯学習課	他市と比較した図書館の利用数について	図書館は市民が利用しやすい施設にする必要があると思うが、今の花巻図書館は、北上市や他の自治体と比べて利用者は多いのか、少ないのか。また、花巻市は宮沢賢治のふるさとでもあることから賢治に関することも考慮して検討いただくようお願いしたい。	<p>平成27年度の資料によると、花巻図書館は施設の老朽化のため利用率が落ちていることもあり、市内全体の図書館の平均利用数は年間4冊程。他市の例では一関市が街中に新しい図書館を造ったが平均利用数は6冊以上利用されている。しかしながら、各市によって事情は異なるため一概には言えないが花巻市でも同程度の利用数を目指していきたい。やはり新花巻図書館は街中の活性化も意識していることから市民が利用しやすい施設にしたいと考えている。</p> <p>また、当市は宮沢賢治をはじめ市に関わりのある先人が多いことから、これらに関連する資料は重点的に収めていきたいと考えている。</p>
3	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	建設部	建築住宅課	災害公営住宅の進捗状況と今後の予定について	災害公営住宅は、東日本大震災で被災し内陸部に避難した方々の住まいの安定が図られるとともに当地区の活性化にもつながるとも意義のある事業だと思っている。そこで災害公営住宅の進捗状況と今後の予定について伺いたい。	<p>災害公営住宅は東日本大震災により被災された方のうち内陸のみなし仮設住宅に住んでいらっしゃる方などに対し、できるだけ便利な場所の提供とまちなか活性化のため、花巻市が事業主体となり、上町及び仲町地域に整備することとした。土地所有者や近隣の関係者にご協力をいただき、土地の取得及び建物解体について3月中に完了。工事は、上町及び仲町と2地区に分け、それぞれ建築、電気設備及び機械設備工事の契約を締結しており、4月には本格着手し、現在、土壌改良を終了し基礎工事に入っている。</p> <p>4月6日には、工事受注者の主催により、安全祈願祭を開催した。整備内容は、上町側は鉄筋コンクリート造4階建て、1階は店舗、2～4階までを住戸として9戸整備する。上町棟の北側には集会所を整備することとしており、災害公営住宅入居者が優先となるが、地域の方々にも利用していただきたいと考えている。仲町側は、鉄筋コンクリート造3階建て、住戸を21戸整備する。入居予定者に対して、現在、市職員と社会福祉協議会の生活支援相談員が訪問し、不安な点や要望などについてお話を伺っている。また、集会所の利用方法については、6月中にも、地域の代表者等(上町・仲町)と協議したいと考えている。</p> <p>また、仲町側に子育て世帯向け地域優良賃貸住宅の整備については、民間による整備を募集することとして準備しており、約10戸程度を想定し来年3月までの完成を目指している。</p>

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
4	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	建設部	建築住宅課	子育て向け地域優良賃貸住宅の整備について	子育て向け地域優良賃貸住宅を約10戸を市ではなく、民間で整備することのだが、どこも手をあげないことも考えられるがいかがなものか。	地域優良賃貸住宅は、事業主体を市が行う場合と民間が行う場合の2つある。市が整備するとなると数億円の予算が必要となるため財政負担がとて大きくなるため、今回は民間が整備し国と市が補助する形で進めたいと考えている。しかしながら、事業者が誰も手をあげない可能性もあり、我々も心配しているが、担当部署で建設業者と情報交換し、事業者が名乗り出やすい要領の作成をしているところ。だが募集しても、誰も手をあげない場合、そのまま塩漬けとなる可能性もあるが、現時点で、担当部署の報告によると前向きに検討していただいている事業者がとっている。今後、プロポーザルをなるべく多く参加してもらいその中で一番良い案を採用したいと思っている。
5	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	建設部	公園緑地課	エセナ跡地の広場整備について	エセナ跡地の広場整備の具体的な内容について伺いたい。	エセナ跡地については、街中での賑わい、寛ぎと交流の場、遊びや健康づくり、イベントなど他にも多様な活動の創出拠点として広場を整備するもの。現在予定している広場のスペースは芝生エリア、広場エリア、植栽エリアで構成。主に敷地の北側を芝生エリアとし、それと一体となったスロープ状のすべり台(スライダー)や上町通りを跳めることのできる階段状のベンチを設ける予定。スロープ状のすべり台は、幼児から大人まで一緒に楽しめる施設で、階段状のベンチは、花巻まつりのパレードや上町でのイベントを眺めることができる。敷地南側は、広場エリアとして舗装整備し、芝生エリアと併せて、花巻まつりの際は屋台村として利用できる等、様々なイベント等に活用できる空間とし、そのエリアから敷地内を周遊できる通路も整備する。敷地東側は、県道の歩道と接しており、更に歩道空間を広く確保することとし、出入口は段差のないオープンスペースとする。広場外周は植栽エリアとし、周辺の建物となるべく視界に入らないよう樹木や植込み(生垣)等を配置するとともに、春夏秋冬とそれぞれ花をつける樹木を配置し、四季を感じることで空間として整備する。 今後のスケジュールは、国庫補助金の交付決定が5月末頃の予定のため交付決定後速やかに発注し、花巻まつりの期間中は広場を一時的に利用できるよう配慮するとともに、年度内の完成を予定している。主な施設は、先程お話ししたすべり台(スライダー)や階段状のベンチの他、水飲み・手洗い場1箇所、外灯5基、フットライト4基、防犯カメラ2基を整備する予定。完成後は、普段からも日常の休憩場所、憩いの場所として積極的に利用いただきたいと考えている。
6	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	財務部	契約管財課	まん福の今後の活用予定について	エセナ跡地の整備に関連して広場整備にあたり、まん福の活用は考えられるのか伺いたい。	専門家に調査していただいたが、集会所として活用するには約2億円が必要とのこと。文化財としてそれほど価値のない建物を多額のお金をかけて整備することは全く考えてない。仮に使うとすれば、建物を壊して広場の延長線上に使える可能性があるかどうか。慎重に検討する必要があるだろうが現時点で将来的に活用するかどうかは申し上げることはできない。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
7	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	商工観光部 建設部	観光課 公園緑地課	エセナ跡地への屋形山車の移転について	エセナ跡地の整備にあたり過去に、城内にある屋形山車の移設の話もあったと聞いているが、現在市としては、そのような考えはないのか伺いたい。	今の計画では、広場全体をイベント等でも利用することとしており、屋形山車を移設する考えはない。  市民がいつも見られる場所という趣旨で、お金をかけて移設することが市民の理解を得られるのであれば将来的にエセナ跡地ではなく違う場所に移設することは考えられるかもしれない。屋形山車はすばらしいと思うが、仮に観光客が来てもお金を落とすことはないため地域経済の活性化にはつながらないだろう。よって、お金をかけて観光目的で移設することは考えていない。
8	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	建設部	都市政策課	市営駅前駐車場の今後の見直しについて	市営駅前駐車場は、イベントやその他多くの際にたくさんの方々に使われておりとても利用価値の高い駐車場だと思っている。市営駅前駐車場のスペースを減らしてまで新花巻図書館を駅近くに移すことはいかがなものかという声も地域ではあるが、市営駅前駐車場の利用状況及び今後の見直しについて伺いたい。	花巻駅前駐車場は、第1第2の2カ所合計で181台駐車可能で、花巻駅利用者やなはんプラザなど周辺施設の利用者に利用いただいている。利用状況は、平成28年度実績で年間14万台を超える利用があり、なはんプラザでの催し開催時や週末を中心に満車になることもある。 仮に新図書館を花巻駅周辺に建設することになった場合は、これまでの利用と合わせて図書館利用に応じた駐車スペースの確保も必要となることから、さらなる駐車場整備の必要性については今後の検討課題と考えている。
9	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	建設部 生涯学習部	都市政策課 生涯学習課	新花巻図書館の花巻駅前への移転と市営駅前駐車場スペースの確保について	花巻駅前の駐車場はとても便利であり、できればそのまま維持してほしいが新花巻図書館を整備する際には、学生のための学習スペース及び閲覧スペースを確保してほしい。また、駐車場もなるべく広く確保するよう検討してほしい。	新花巻図書館を花巻駅前に造ることは決定したわけではない。あくまで候補の一つ。駅前に近いほうが便利ではないかという意見もあるが、一方で市営駅前駐車場をこのまま維持してほしいとの意見もあるところ。 現在の花巻図書館の閲覧スペースは狭いことから、新図書館は十分な閲覧スペースを確保したいと考えている。また、なはんプラザ2階に設置した学習室も多くの学生に利用されている。学生は駅に近い場所にあった方が便利だと思う。これらも踏まえながら建設場所など検討していきたい。  花巻駅前駐車場の必要性については、市でも十分に認識している。仮に新花巻図書館を花巻駅近くに造ったとしても、花巻駅前駐車場の駐車台数を減らすことは考えていない。必要な場合には立体駐車場を整備することも考えられる。駅前駐車場の必要性は大きな検討ポイントであると考えている。 新花巻図書館の建設場所の候補を花巻駅近くとしているのは、まず、学生にとって駅に近い方が学習もでき便利ということ。また、新花巻図書館は中央図書館としての位置付けとなるため石鳥谷や他の地域から電車やバスを使ってくる方にとっても駅に近い方が良いと考えている。また、URIにお願いし図書館の中に民間企業による事業等を併設することも検討しているが、旧花巻市の人口規模だと採算が取れないため民間企業に事業を行ってもらうことはなかなか難しいようだ。それでも、図書館の中に併設の施設を造ることで、花巻駅前の活性化にもつながる。総合花巻病院跡地となると民間企業に併設の施設を造ってもらうことはかなり難しくなる。これらも踏まえながら前提として花巻駅前駐車場のスペースは確保しつつ建設場所について選定していきたい。
10	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	財務部	契約管財課	まん福の現状の対策及び活用について	まん福の敷地とエセナ跡地の境付近に草が繁茂しないように植栽シートをかけているが、景観上良くないと感じる。まん福の敷地と併せて一体的に活用することも検討の余地があるのではないかと思います。	まん福に関しては先ほどお話ししたとおりだが、奥山時計店の横を通っている道路を利用する可能性はあると思う。しかしながら、擁壁を壊し新たに整備するとすると数億円のお金がかかると思われる。市単独で数億円の負担は財政的に大変難しい。現実的には、現状の防草シートでの対応となるだろう。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
11	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	建設部 生涯学習部	都市政策課 道路課 生涯学習課	新花巻図書館整備にかかる駅の橋上化及び万代橋東側の道路整備事業との一体的な整備について	現在、花巻駅の橋上化と新花巻図書館移転の話が出ているが、仮に橋上化が決まったとしても新花巻図書館の建設時期とはずれてくると思われるが景観やモチーフ等は一体的に考えていくべきだと思う。また、できれば万代橋の整備事業においても、街中の整備としてこれらの事業との兼ね合いも考慮しながら一体的に検討していただきたい。	新花巻図書館を花巻駅近くに造ることとなった場合、当然、駅周辺との景観も考慮して検討しなければならないと思っている。だが、万代橋東側の道路整備事業とも一体的になると花巻市にそこまでの財政力がないため難しいだろう。万代橋東側の道路整備事業は国からの補助金がないと整備することは難しいがまだ予備調査の段階であり、国も予算が厳しいため現時点で確実に出るとは言いえない状況。その上で更に駅周辺と一体的な整備となると難しいのが実情。
12	H30.5.24	市政懇談会	花巻中央	建設部	道路課	市道城内大通り1丁目線の整備について	総合花巻病院前からセブンイレブンまでの道路は、幅員が狭いが、拡幅工事をするよりは、現状のままですピード制限をかけることで一定の安全は確保しつつ環境も守られると思うがいかがなものか。	幸橋から、花巻合同庁舎までの区間は、道路も狭く危険なため出来れば整備の方がよいと思っている。総合花巻病院からセブンイレブンまでの区間については土地の問題などもあるため車道を拡幅するのは難しい状況。一部区間の歩道整備については再度計画を検討しているところである。